

JARL NEWS

MAY 1937.

第62號

偶 感

ラヂオアマチュアはラヂオに興味を有ち、自主的にラヂオに関する實驗研究を行ふ事に依つて得る悦びを求めて居り、其の悦びはアマチュアラヂオの發展に對して大なる推進力を與へ自からアマチュアをして社會的貢獻の實を擧げしめるものなのである。然しアマチュアが徒に興味本位な自己主義に走る時は其の反動として反つて効用大きく得られる可き管であつた悦びが漸次遞減して遂には悲觀すべき事態に陥る事となるであらうし、又それかと言つて眞向から獨斷的に社會的貢獻と言ふ事を建前にする時はアマチュアに與へらる「悦びを通じての推進力」を缺きアマチュアラヂオがアマチュア性を失ふに至るであらう。故に我々アマチュアは極端に興味本位な自己主義的氣持に走る事を慎み、又社會的貢獻を目的として獨斷的な偏つた全體主義的精神を眞向から振擧してアマチュア性を没却してしまふ様な事の無い様に注意し、此の對立關係にある自己主義的氣持と全體主義的精神とを好く妥協調和せしめ、アマチュアに與へられる「悦びを通じての推進力」を能率よく活用し其處にアマチュアラヂオの特質上の發展とアマチュアラヂオの永續性を求め社會へより大なる貢獻を爲す様心掛けねばならぬと考へる。然し扱て實踐となると之はそう簡単に片附けられる問題ではなく、之が解決には相當頭をひねらねばならぬだらうし又此の對立關係を好く妥協調和せしむるに優秀な Technique を有つて居ないと只理想のみに終つて了ふであらう。我々アマチュアは Radio Engineering の研究の傍此の方面の Technique の研究をも尙一層行ふ必要があるのではなからうか、そして JARL NEWS は此の兩方面の研究の機關誌となつた時始めて眞の價値を有つてあらう事を信じて止まない。

—J 2 I S—

ユニヴァーサル エキサイター ユニット

—J 2 I S—

56Mc. C.C. のエキサイターの必要にせまられ、どうせ作るなら 56Mc. only のものでなく經濟的に 3.5Mc. 7Mc. 14Mc. 28Mc. 56Mc. の 5バンド中好みの周波數を 20W 入力 of C 級 ステージを樂々とエキサイト出来、而もバンドの變換の簡單なものを作らうと考へ、6L6 を 4 本使用したユニヴァーサル エキサイター ユニットの試作した處好結果を得たので何かの御参考にでもならばとて御紹介致し度い。

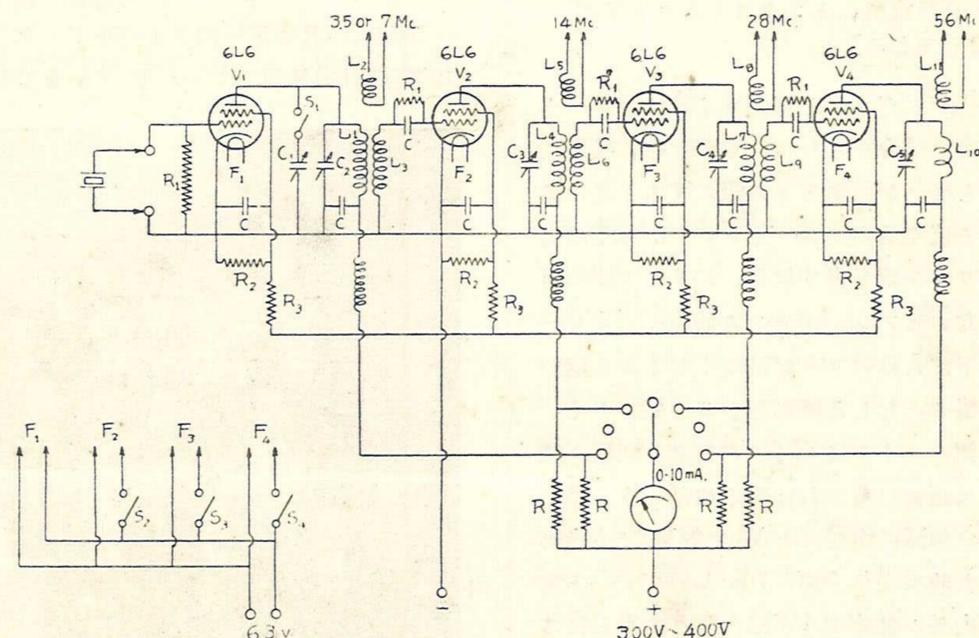
サーキット及びデータ並にコンストラクションの具合は配線圖と寫眞を御覧になれば賢明なる諸兄には一目瞭然の事と確く信じて疑はないから細い事は省略する。

プレート電流測定用として 10mA のメーターを配線圖に示す様な方法で用ひ 100mA メーターとしたのは 1 個のメーターで安全に 4 ステージのプレート電流を讀まんとした爲であるに過ぎない。

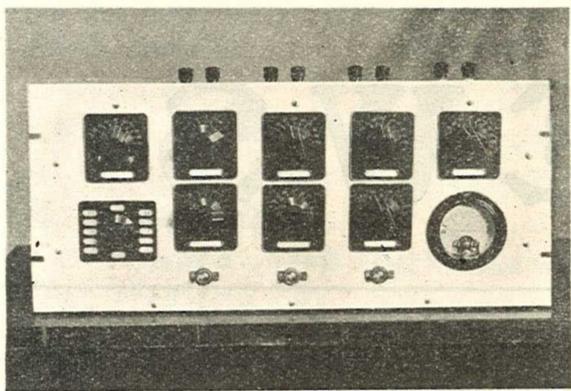
メーターのシャント抵抗 R は $\frac{R_m}{M-1}$ (R_m はメーターの内部抵抗、M はメーターのスケール

を何倍にして讀むか其の倍率) で決まるが、自分の用ひた NEW 10mA のメーター用としては BS 29 番ニクロム線 2cm. を適當に固定し、實際に此のシャント抵抗を NEW 10mA のメーターに附して別の 100mA のメーターと直列にして電流を通じ双方のメーターを比較し乍らニクロム線をヤスリで細くし 10mA が 100mA に讀める適當なシャント抵抗を求めた。

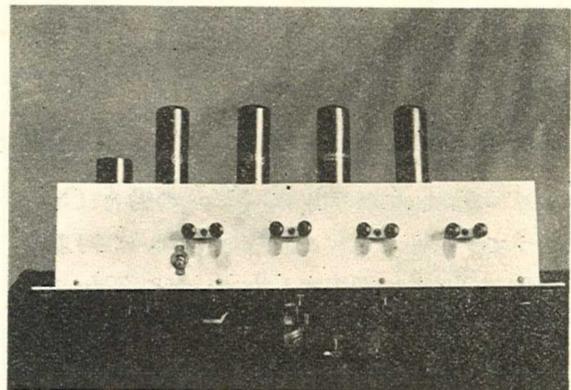
扱て此のエキサイターユニットのオペレーションに就て具体的に述べると、先づ 3.5Mc. 用として用ふる時は S₂, S₃, S₄ を切つて V₂, V₃, V₄ のフィラメントを消し S₁ を入れ C₁ を C₂ に並列にして V₁ のプレートタンク回路を 3.5Mc. に同調し 3.5Mc. の X-tal を以て發振せしめプレートコイルに結合してあるリンクコイル L₂ より 3.5Mc. を取り出す。7Mc. の場合は S₁ を切つてプレートタンク回路を 7Mc. に同調し 7Mc. の X-tal で發振せしめ L₂ より 7Mc. を取り出せば良い。14Mc. 28Mc. 56Mc. を取出す場合は X-tal は 7Mc. のものを用ひ、從つて勿論



R	記事参照	C	0.003 μ F	L ₁ L ₃	BS	DCC	19#	密着捲	26回	直經 1吋	(結合密)
R ₁	100.000 Ω	C ₁	300 μ F	L ₂ L ₅	BS	DCC	19#	3/4吋長	5回	直經 1/2吋	
R ₂	30.000 Ω	C ₂	T.H.S. 17P	L ₄ L ₆	BS	DCC	19#	密着捲	13回	直經 1吋	(結合密)
R ₃	20.000 Ω	C ₃	T.H.S. 5P	L ₇ L ₉	BS	DCC	18#	1 1/2吋長	9回	直經 1吋	(結合密)
		C ₄ C ₅	T.H.S. 3P	L ₈ L ₁₁	BS	DCC	19#	1/2吋長	4回	直經 3/4吋	
				L ₁₀	BS	DCC	18#	3/4吋長	3回	直經 1吋	



S₁ は切っておかねばならぬ。14Mc. は S₂ を入れ V₂ を働かせ V₂ のプレートタンク回路を 14Mc. に同調する事に依つて L₅ より得られる。同様にして 28Mc. は S₃ を入れ L₇, C₄ を 28Mc. に同調する事に依り L₈ より、56Mc. は S₄ を入れ L₁₀, C₅ を 56Mc. に同調する事に依り L₁₁ より取り出す事が出来る。此の場合不要なステージの球 (14Mc. を取り出す場合は V₃, V₄) のフキラメントは消す様にしないと不要なステージで不要な電力を費すのみならず好みの周波数を取り出して居るステージの次のステージの球のグリッドカーレントとして取り出すとするパワーの一部を無意味にロスさせる事となる。



〔上より見た写真、リンクコイルの端子が上に出してある〕

各ステージのグリッド側のコイルはプレートコイルと密な結合をもたせた方がよい、又同調をとつても好いが同調をとる様にすると之に結合してある直ぐ前のプレートタンクからその周波数のパワーを取り出す場合、グリッド側の同調を外さないとプレートタンク回路のイムピーダンスが下げられパワーが出なくなるから返つて手数が掛る。むしろ同調をとる必要はなく、グリッド側のコイルは 6L6 のグリッド回路の抵抗に對して適當に捲かねばならぬだらう。然し實際上よい加減に作つても V₄ で 28Mc. を 56Mc. にダブつた時でさへ 300V 70mA のプレート入力で 20% 内外の能率で 4W 位の出力は得られるから 20W (級ステージのエキサイターとしては下手に作つても必ず成功する。尙 V₁ のステージから 3.5Mc. 又は 7Mc. を取り出す場合は餘り此のステージの入力を増す様な事はしない方がよい Xtal を破損する憂がある。

—(4 頁へ続く)—

JARL 第六回全國大會々記

昭和12年度の全國大會を大阪に持つた關西支部は草間委員赤澤・守田兩幹事及び數名の有志者の協力に依つて、大安及び何とかに依る結婚日に當る 4 月 3 日の吉日に苦勞の末、美事 FB な會場を見附けられ用意萬端整へられた。

アマチュア精神の昂揚、親睦の爲めに集る者遠くは朝鮮より J8CD、東京より J2GV, HN, I S, KJ, LC, LU, ME, 名古屋より J2CB, CC, CE, CF, CM, CZ, 中國より J4CJ, CL, 地元より J3CB, CS, DC, DE, DF, DO, EN, FI, FJ, FK, FT, FU, FZ, GC, GG, の諸氏及大阪逓信局より岩隈・島田兩氏が出席された。

午後 2 時、J3CB 草間氏の開會の辭があり J3EN 赤澤氏の挨拶、J2IS 三田氏 (GV 柳瀬氏の挨拶及びバツチの件及びニュース原稿謝禮の件に就いての御話があり、關東支部幹事 J2ME 福島氏の關東支部の紹介即ち毎月一回ミーティングがあり、研究會は年に四回催される事等。東海支部委員兼幹事 J2CB 山口氏の挨拶及び東海支部の紹介即ち盟員の密度が少い事、通信士の盟員を師としてキーイングの練習をされて居る事等。關西支部幹事 J3EN 赤澤氏の關西支部の紹介即ち毎月一回研究會を催して居る事等のプロローグがあり、ついで席順に自己紹介があつた。自己紹介終つて研究發表があつた。發表順に發表者及び題目を簡條書にすれば……

- (1) A. R. R. L. のコンテストに就いて。(J2CB 山口)
3.5Mc. 7.1Mc. 14.2Mc. 28.4Mc. の四周波帯にて縦横に活躍された。
- (2) A. R. R. L. のフィールドデーに就いて。(J3DC 武田)
1933 年 6 月の第一回フィールドデーより 1936 年 8 月の特別フィールドデーまでの五回

のフィールドデーに用ひられた送受信機及び其の電源の紹介があつた。

- (3) 名古屋地方防空演習參加報告。(J2CB 山口・J2CE 廣間・J2CF 西)
防空の重き使命を帯びて名古屋市と其れを離れる事 50 軒標高千米餘の高山との間を 10 米帯を用ひての通信連絡を確立された苦心談を交々語られた。尙之れには指向性空中線を用ひられ、山の方の電源は乾電池を用ひられた。
- (4) 56Mc. 帯に就て。(J3CF 津賀)
エーコン真空管、56Mc. の受信、空中線等の話があつた。
- (5) ビエゾ電氣に就て。(J2LU 下村・J2ME 福島)
ロツシエル塩の結晶の得方、切方等の話があつた。

- (6) 歐米旅行談。(J2GV 柳瀬)
時代の寵兒無線電送寫眞のテストの公務の傍ら彼地で會はれた獨佛英米の**アマチュア**氣質、**アマチュア**ステーション及びラヂオ ショップ等の興味深い御話があつた。
- (7) タイム シグナルに就いて。(J3DE 宮井)
國際式、アメリカ式、學用式、ロシヤ式、日本式等の報時方法の説明、主なる報時局の名及び周波数の指示等の御話があつた。(此の詳細は氏がニュースに書かれる由)

以上の如き有益な又興味ある發表があり午後 6 時半研究發表は終り、7 時より懇親會が支那料理を伴奏として賑々しく開かれた。宴酣にして 10 時に閉會した。

翌 4 日は草間氏の案内で世界に誇る JOBK 演送所を見學。設備と感じのよいのに一同感心する。續いて赤澤氏の案内で大阪帝大理學部を見學。時代の尖端を切る諸實驗装置に興味をそゝる。最後に市營の電氣科學館に至つて御自慢の天象儀を見る。星の世界に遊ぶ事一時間にして皆天文通になつてしまつた。此處で全國大會は解散した。(J3DC 記)



MX 訪問記 (2)

— J 3 F J —

MX2B家に在つては送信機にへばりついたらまゝである。外国で聴くJのSigsは非常に面白い。大阪で聴くのと違つた音色で入つて居る。中にはエコーを引き気味なJ2のSigsさへある。特にJ3のOM方のSigsには言ふに言はれぬ懐しきがある。J3FJのSigsを探したか不思議にも入らぬ。残念な事である。

Jの午後12時、MXの午後11時を限りに床に就く。「2Bさんお寝み」と言つてから話が續く。内地の事、OM方の事、そしてラヂオの話——low power から high power にかけて——、良くこれ文話す事があるものだと感心する程である。時計が2時を打つ。山程の話題を明日の楽しみに残して眠に入る。

MX2A様の御宅は2B兄の直ぐ近くであり「オイ」と呼べば「何ンヂヤ」と答へる程であるのに「何ンヂヤ」と御聲がない。早速二人で押掛けると2A様は少々体を壊されてベッドの中でQSTを御覽あそばされて居た。MXの初めてのアマチュア2A様には「MXアマチュアの歴史」を御聞きした。MXにはJと違つた生立があり仲々面白い。「日本満洲アマチュア史」なんて面白い本ではあるまいか。

2A様のシャックは大体QSTに載せられたFotoと同じであり、其の整然さ、送受コントロ



奉天にて左より
〔永野・青島・湯淺・小西〕

ールのFBさには教へられる處が多い。

2B兄のシャックは正に研究所の感じで、あちらこちらにXmitやhigh power tubeがゴロゴロして居た。其れ等の球が良く働くもの計りである處一寸内地とは違がある。

「九杯目にはソツと出し」乍ら2B宅にへばりつく事正に半ヶ月。是れではならじと本溪湖に別れを告げて2B兄と共に奉天へと向ふ。奉天ではexAC3Tの青島氏、exAC4LKの小西氏の兩氏にお會ひ出来て誠に愉快であつた。兩氏共始末書引換へに永遠に其れ等のCallとオサラバを告げられた方々である。

今の處MXでは2A、2Bの他には許可を下さぬ模様であると承つた。兩氏は「時の來るのを

大人しく待ちますよ」と淋しく笑つた。

MX2C、MX3A等々の出現する聞か時MXには大人しく待たれぬ方々が相當に多いらしい。

「虎は野に放つよりは檻の中に入れて之れを見るべし」とはFJ一個人の愚見である。

舞ひ上る砂で口も目も開けぬ砂漠見物を名残りに満洲旅行の幕を閉ぢる事にして、朝鮮J8CD氏のシャックを襲ふべくプランを立てる。2B兄「ワシも行く」と言つて二人掛で攻めよせたにはFBなる腕とカップクあるオツムで平壤十



J8CD氏宅前で

〔CF氏、奥サンCD氏、永野氏、3FJ小生案内中足をくじいたのです。決して生れつきではありませんヨ。(永野)〕

里四方有名なるCD氏もマジマジとなさる。

翌日はCD氏所有のダットサン二台に分乗し一台はCD氏一台は奥様操縦で鎮南浦へJ8CF氏を迎へに行く。J8CF氏はlow power乍らFBなシャックを御持ちであり小生の知る限りに於て最もCondx FBな地である。QRNNに悩まされ通しの小生にはうらやましいやら残念やら。CD氏宅へ歸つて「一杯飲もう」と言ふて居る處へ京城J8CB氏御越しになる。何んでも野球試合に御出場の爲來平された由、FJ誠に幸運兒である。

實際アマチュアが五人集まれば敢て女人に引けをとらぬと確信する程に賑かなものである。最近JARL本部並に支部大變activeなりと御譽めの御言葉にあづかる。誰れかNEWSは集まるものに非ずして集めるものなりと言はれた。正に當事者の味ふべき一言。

J8の皆様御近況、御研究、御意見等に話はずみ、釜山行11時の夜行にダットサンでかけてヤツと乗ると言ふ始末であつた。

扱て別れるとなるとどうもセンチになつて來る。殊に一ヶ月寢食を共にした2B兄にはお別れの挨拶さへ出來兼ねた。汽車が動き出してからあわてて皆様にTnxの連發を始める。皆様の姿が小さくなり平壤驛が小さくなり、そして見えなくなつた。何だか夢の様だ。

奉天で平壤の御親切、御友情を次から次へと思ひ出して限りが無い。

汽車は無心で走つて居る。

思へばFBな旅行であつた。私は心より皆様が満洲朝鮮のシャック訪問に押し掛けられん事をお薦めする。美しい思ひ出は一生胸を離れないであらう。(完)

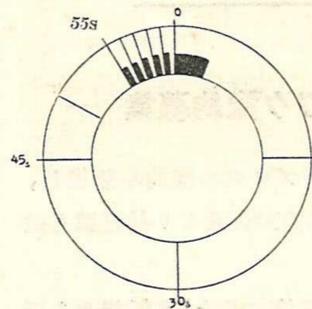
關西支部 ニュース

全國大會の席上三田さんにニュースに盟員のニュースを載せて貰ひたいと言つた手前、魁より始めよ、4月14日の研究會を通しての臨時ニュースを御目に懸けます。

J3CB:—研究會には無くてはならぬ人です。草間さんに何か話して貰ふ事は大變困難です。しかし尋ねれば仲々FBに説明して貰へるので皆は研究會に出席するのを楽しみにしております。

J3DC—此れは僕自身ですが、只今多忙につき休止中です。7Mc.と14Mc.のアンテナ線につけてある棕綱繩が切れてアンテナ線が柱の頂の滑車から抜けてしまつて、直すのによい考へが浮ばず困つて居ます。体が軽くて木登の上手な人が居ないかと探しております。殆んどon the air しませんし、時たますれば28Mc.でするものですから、すっかりJの方と御無沙汰しております。ニュース紙上で存在を明らかにしておきます。

J3DE:—宮井さんも草間さん同様研究會に無くてはならぬ人です。其れは必ずFBな研究発表があるからです。事程左様に熱心な方です。此頃はtime signalに力を入れておられ、交信の際、望めば標準時を報時して下さるそうです。即ち下圖の如く何時何分の5秒前より各秒毎に



短點が鳴り(プザーに依る)最後に長點が鳴る始まりが何時何分零秒であるのだそうです。いづれtime signalに關する記事と共に詳細がニ

ュース紙上に載せられる事と思ひます。

J3DF:—56Mc.に非常に熱心です。56Mc.の相手を戀人を探す様に探しておられます。ごなたか戀人になつてあげて下さい。津賀さんの局は仲々綺麗にしてありますので、紅茶の御馳走になつておられますと、tea room "Radio"と言ふ様な喫茶店がもしあるとしたなら、此様なのではないかと空想させる程です。

J3EK:—岸本さんは今春目出度く京都帝大の化學へ入學されました。以前の様に56Mc.の相手になつて戴けますかしら。今後は大いにon the air されるそうです。

J3EN:—全國大會には大變御苦勞様でした。UX112Aを百數拾パーセントに能率よく使ひこなしてDX QSOをしておられます。

J3FC:—今春目出度御卒業、川西真空管會社へ入社されました。もうしばらくすれば研究會に御土産を持つて來られるそうです。

J3FP: 一全國大會には大変御苦勞様でした。受信機を澤山製作され、多くの知識と経験とを持つておられます。

J3GF: 一有近さんは御勤めが御忙しいそうです。初めて研究会に出席されました。どうぞ今后とも御出席を御願ひします。

J3GG: 一前野さんは今春目出度神戸高工を御卒業、大阪變壓器株式会社へ入社されました。御健闘を祈ります。

J3GL: 一小野さんも初めて研究会に出席されました。GF・GGさんと共に神戸で活躍されておられます。

此の研究会には缺席されて居るがよく見える方のニュースを探して見ますと

J3OW: 一神戸市板宿に新居を構へて開業されております。患者が多くて暇がないそうです。

J3DL: 一東京へ轉動されました。

J3ET: 一今春目出度名古屋醫科大學へ入學されました。

J3FI: 一關西有数の active station です。

J3FJ: 一全國大會に御世話をして下さいました。28Mc. の OM です。最近56Mc. の Xtal Cont の Xmtr (6L6 last Amp) を作られました。

J3FK: 一全國大會に御世話をして下さいました。第二世御出生で QRM だそうです。

J3FZ: 一28Mc. の OM です。スーパーの製作中です。(J3DC記 12年4月18日)

コールブック豫約募集

今回 JARL でコールブックの豫約を募集し、應募された方々へは直接發賣元より最近號を送らせてます。

御希望の方は6月末日迄に代金3圓90錢也を添へ J2IS 宛御申越下さい。

(2頁より續く)

お上品に使つても20W C級ステージをエキサイトするに充分なパワーを得られるから。最後に各此のエキサイターのステージの能率を記しておく。

Band	Ep	Input	Out put	Efficiency
3.5Mc.	300V	6W	3.3W	55%
7Mc.	300V	6W	3.6W	60%
14Mc.	300V	6W	3.6W	60%
28Mc.	300V	6W	3W	50%
56Mc.	300V	18W	3.8W	21%

CALLS HEARD

(14Mc. Fone)

CE1AO	KA1JS	KA1AN	KA1RB
KA1MM	KA1JZ	KA1MT	KA1ER
KA1AP	K6MTE	K6BAZ	LU3HK
LU9BV	MX2A	PK3GD	VE5AK
VE5HI	VK2QH	VK2AZ	VK2AB
VK3MW	VK3HM	VK4JU	VK4PK
VK4VD	VK4JX	VS6AB	W4DSA
W5EHM	W6BKY	W6BGO	W6CZ
W6_QI	W6FTY	W6GCT	W6HOE
W6HX	W6IAI	W6IZE	W6IUZ
W6KMI	W6LY	W6MIM	W6MWO
W6MLG	W6NNR	W6YU	W7AFL
W7UK	W8LBZ	W9BEZ	W9CBM
W9ECA	W9FMO	W9JRE	W9KWY
W9MDF	W9RUK	XU8HR	XU8HW
XU8JR	XU8MT	XU8WS	

(April 10-24, -J2KJ-)

(14Mc. Fone)

K6JPD	K6NTV	K6BAZ	K6FKN
KA1RB	KA1AD	VK6MW	VS7MB
W6MWO	W6BGO	W6MIM	XU6AZ
XU8XA	XU8HW		

(April 20-30, -J2IS-)

(28Mc.)

K6CSI	K6MVF	VK2AZ	VK2JH
VK2GU	VK3CZ	VK3YP	VK4EI
VK5KO	VK5FM	W6AM	W6BC
W6LWO	W6FEX	W6LBX	W6LJQ
W6FMR			

(April 20-30, -J2IS-)

-JARL QSL Service-

JARL盟員より海外への QSL は、Card一枚に付1錢の割にて2錢郵券を添へ

東京市淀橋區西大久保1丁目440

J2GX 矢木太郎

へお送り下されば、QSLサーヴァイスを致します。

-JARL NEWS 原稿-

無線に関する實驗研究、JARL ヤアマチュアラヂオに對する希望、笑話等どしどし御投稿下さい。JARL NEWS 誌上へ掲載の分に對しては現 JARL NEWS 誌の三分の一頁に付 JARL 盟費一ヶ月分の割にて盟費代用券を贈呈致します。尙、採否の權能は編輯幹事にお任せ下さい。御寄稿御希望の方は

東京市目黒區三田40

J2IS 三田義治

へ御申越し下されば、JARL NEWS 用原稿用紙をお送り致します。

-W. A. C. 證-

W. A. C. 證御請求の方は QSL cards を添へ J2IS 宛御申越下さい。

-JARL 盟員用事務用品-

報告用紙、日誌抄録表紙、遞信局宛封筒、検査簿等御入用の方は各所屬支部事務所へ代金(要送料)を添へ御申越し下さい。代金及び送料は下記の通りです。

報告用紙(120枚30組分) 20錢—250瓦
 日誌抄録表紙(6 0 枚) 15錢—190瓦
 遞信局宛封筒(2 0 枚1組) 10錢—50瓦
 検査簿(1 5 枚1綴) 15錢—70瓦
 發送用封筒 —10瓦
 送料は120瓦毎に3錢(第四種)

JARL NEWS No. 62 【非賣品】禁無斷轉載

昭和12年5月29日印刷納本 昭和12年5月31日發行

編輯人 J2IS 三田義治
 發行人 J2GV 柳瀬久二郎
 發行所 日本アマチュア無線聯盟 (Japanese Amateur Radio League)
 東京市芝區愛宕町 1ノ20 遞信同窓會館内
 本部宛所 東京中央郵便局私書函第377號 (P.O.Box 377, Tokyo)
 事務所 關東支部 橫濱市中區本牧和田55 J2LU 下村弘方
 東海支部 四日市市南町 2688 J2CB 山口喜七方
 關西支部 大阪府豐中市東豐中町80 J3EN 赤澤包敏方
 東北支部 仙臺市小田原裏丁7 J6DJ 相川省吾方
 印刷者 東京市足立區千住4丁目60 J2JH 佐々木正治